



令和 5 年度土木学会東北支部技術研究発表会に参加しました(2024/3/2)

場所：岩手大学（岩手県盛岡市）

参加者：西田(M2), 金子(M1), 武井 (M1), 三上 (B4), 水島 (B4)

3月2日に、「令和5年度土木学会東北支部 技術研究発表会」が岩手大学にて開催されました。この研究集発表会は東北の研究社、技術者などによる、土木を対象とした研究を発表する会で、毎年3月に行われています。本年度は、発表者として西田(M2), 金子(M1), 武井 (M1), 三上 (B4), 水島 (B4) が参加しました。発表者の講演内容は以下の通りです。

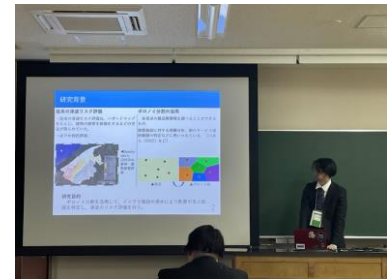
- 西田 知生・Suppasri Anawat・今村 文彦：仙台港における津波数値計算を用いた臨海工業地域の緊急対応に関する研究
- 金子 哲士・佐藤 翔輔・新家 杏奈・今村 文彦：近年の水害における災害発生までに至る諸情報の発信過程に関する分析
- 武井 亮太・門廻 充侍・Suppasri Anawat・今村 文彦：津波火災発生地区での焼死犠牲者の有無に着目した分析-東日本大震災における宮城県での事例
- 三上 雄大・佐藤 翔輔・成田 峻之輔・今村 文彦：歩行型 VR を使用した津波避難誘導パルーンの効果検証に関する実験
- 水島 琉登・Suppasri Anawat・Constance Chua・田中 健登・今村 文彦：南ジャワ・チラチャブの津波リスク評価における重心ボロノイ分割の活用について



西田(M2)



金子(M1)



水島(B4)



集合写真（金子 (M1), 武井 (M1), 三上 (B4)）

(文責：水島)